

令和4年度 第3回遠野市上下水道事業審議会 会議録

- **日時** 令和5年3月13日（月） 午前10時から午前11時40分まで
- **場所** 遠野浄化センター 会議室
- **出席者**
 - 1 多田市長
 - 2 委員（出席：9名全員）
菊池明敏、新田玲子、山蔭和子、松田克之、菊池宏、千葉孝造、立花恒、
菊池正、伊賀浩人
 - 3 事務局
奥寺環境整備部長、石田上下水道課長、細川課長補佐兼下水道係長、
鈴木副主幹兼経営係長、佐藤上水道係長、福田主査、菊池主任、鈴木主任
- **会議次第**
 - 1 開会
 - 2 市長あいさつ
 - 3 会長あいさつ
 - 4 説明
 - (1) 下水道事業の経営について
 - (2) 水道事業の経営について
 - 5 議事
令和5年度の審議会の進め方について
 - 6 事務連絡
 - 7 閉会

1 開会

2 市長あいさつ

これまで整備してきた施設の老朽化が進む中、経営はますます厳しくなっていく。既に自らの収入では事業が成り立たない状況が続いており、経営改善は、優先的に取り組まなければならない課題である。現状を把握していただき、上下水道の未来を予想しながら、今後進むべき道筋を皆様と共有していきたい。来年度は、課題解決に向けた本格的な話し合いに入る。皆様から忌憚のないご意見を賜りたい。

3 会長あいさつ

今回は経営状態について、掘り下げて事務局より説明いただく。今後の経営について、しっかり考えていただきたい。

4 説明

(1) 下水道事業の経営について

事務局から、下水道事業の経営について説明した。

<質疑応答>

【老朽化対策について】

委員： ストックマネジメント計画の中で、工事費をほとんど見込んでいない年度があるのはなぜか。

事務局： 計画的に実施していく中で、狭間になる時期はある。

会 長： 施設にはそれぞれ耐用年数があり、更新時期を迎えない年度もあるので、事業費が少ない年度も生じる。今後計画の中で平準化を図っていくこととなる。

【一般会計からの繰入について】

委 員： 市内全体に占める下水道使用者が少ない中で、一般会計からの繰入金が多いことについて市民から不満の声等は寄せられていないのか。

事務局： 市民から直接の声は寄せられていないが、市役所内部では好ましくない状況である、との話はしている。

【下水道使用料について】

委 員： 接続率を上げるのは、下水道の一番の課題だと思う。未接続者にどのような戦略をとっているのか聞きたい。

事務局： 下水道区域内で接続していない理由は、主に下水道が後から整備されたこと、資金不足、高齢者世帯といったものが大半である。年に何回か地域を絞って、通知や訪問、産業まつり等のイベントで啓発活動を行っている。地道な声掛けを継続していくしかない状況である。

会 長： 遠野処理区と農集の水洗化率は 90%を超えており、全国的に見れば低いわけではない。立派なほうである。残りの 10%は、高齢者世帯が多く、接続が厳しい世帯が残っていることが考えられる。一般的に 90%より上に上げるのは非常に難しい。

委 員： 浄化槽の維持管理に対する経費（清掃や点検等）を調べて、下水道使用料と比較してはどうか。

事務局： 浄化槽の維持管理費用は、算出可能と思われるので、後日お示しできると思う。

会 長： 浄化槽の月額平均は、3,000 円～4,000 円程度である。遠野市は、それに比べると安い。

委 員： そうというのが説得材料になるのではないか。

会 長： 全国的には、下水道を止めて浄化槽に変えている。原価を賄うことができないからだろう。

委 員： 下水道使用料は、何年据え置いているのか。

事務局： 供用開始した 26 年前から上げていない。

(2) 水道事業の経営について

事務局から、水道事業の経営について説明した。

<質疑応答>

なし

(3) 菊池会長（総務省経営財務マネジメント事業アドバイザー）からの解説

会長から、アドバイザーとしての解説をいただいた。

<質疑応答>

委 員： 経営長期シミュレーションにおける「長期」の理想の期間はどのくらいか。

会 長： 総務省は 50 年を理想としている。施設の耐用年数が長くて 50 年であり、今使っている資産は、今の世代の人たちが責任を持とう、との考えが根拠となっている。私も 30 年以上は必要だと考えている。

委 員： 下水道使用料について、個人的にはまず、国が示す基準である 20 m³ 3,300 円が使用料改定の目安であり、市民も理解できるのではないか。

会 長： 国が示す 20 m³ 3,300 円まで下水道使用料を上げたとしても、繰入金が 1 億円程度しか削減にならず、抜本的には変わらない。今後長期シミュレーションを実施した上で、話し合っていきたい。

5 議事

令和 5 年度の審議会の進め方について

事務局からは、適正な下水道使用料体系について審議していただきたい旨を提案し、事務局案のとおり承認された。

6 事務連絡

次回の審議会は、令和 5 年 7 月を予定している。

7 閉会